

第28回JA広島県大会の主題

組合員とともに自己改革で未来を創る

～『徹底した話し合いの実践』で“食と農と地域”に貢献するJAに私たちはなる～

基本目標

「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」

平成30年7月 豪雨災害の復興支援に協同の力の結集を！

1 | 豪雨災害の概要とJAグループ広島の支援活動 2 | 組合員の営農復興・再開に向けての計画的支援 3 | 暮らしの中での災害対応

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

◆対象 / 正組合員(特に担い手経営体・中核的担い手)

2 農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組みのステップアップ

1. JAグループ広島の総合力で目指す販売高目標
2. 各JAにおける営農振興の取り組みのステップアップ **C**
3. 広島県農業を「1県1農場」と捉えたマーケットインに基づく生産・販売の強化 **D**
4. 担い手支援と新たな担い手の育成 **E**
5. 消費者との信頼を築く食の安全・安心確保対策の実践
6. 都市農業の振興と農地の保全
7. 営農・経済事業への経営資源のシフト **F**

基本目標に直結する取り組み

基本目標の「核となる施策」

1 組合員とともに進めるJAの自己改革

1. 「組合員の声を聴き・声に応える徹底した話し合い実践運動」の展開 **A**
2. 地域に根ざした協同組合運動を先導する人づくり **B**

「地域の活性化」

◆対象 / 正組合員・准組合員

3 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

1. アクティブ・メンバーシップの確立に向けた多様な取り組み **G**
2. 正・准組合員の位置づけの明確化とJA運営への参画

4 JA総合事業を通じた暮らしの支援と地域活性化への貢献

1. JAの総合事業性を活用した生活インフラ機能の発揮
2. 地域の多様な組織との連携強化による役割発揮
3. 組合員とともに「地域の拠り所となる支店」を創る

基本目標を「横断する取り組み」

◆対象 / 正組合員・准組合員・地域住民(特に多様な担い手)

5 JAファーマーズ・マーケットを起点とした農と協同の地域づくり

1. JAファーマーズ・マーケットを核とした農業者の所得増大に向けた取り組み **H**
2. 農業と地域住民の懸け橋となるJAファーマーズ・マーケットづくり
3. JAファーマーズ・マーケットから発信する地域の「食」と「農」と「協同」
4. JAファーマーズ・マーケットの県域視点での運営支援体制の確立

基本目標の達成を「支える施策」

◆対象 / 正組合員・准組合員

6 自己改革の実践を支える経営基盤の確立

1. 健全経営にふさわしい経営基盤の確立
2. 持続可能なJA経営基盤の確立・強化 **I**
3. 自己改革の実践力を高め、健全なJA運営を支える人づくり

7 自己改革の実践を伝え、地域と県民からの理解を醸成する広報活動の展開

1. JA広報活動の位置づけの明確化、活動の重点化・段階的向上
2. 「JAグループ広島 統一広報戦略」に基づく広報活動の展開
3. 協同組合の今日的意義・社会的役割への理解促進

8 将来を展望した新たな県内JA合併構想の実現

1. JA経営改革の着実な実践
2. 県域統合JAの創造と実現

9 大会決議の実践支援・進捗管理の徹底

1. 実践進捗管理・PDCAサイクル循環の仕組みの確立
2. 声を聴き・声に応える徹底した話し合い実践運動との連動
3. 中央会・連合会によるJA自己改革の支援

自己改革

危機を克服するJAグループ広島の取り組み

<JAグループが直面する3つの危機>

協同組合の危機

- ・正組合員の高齢化と減少
- ・組合員構成の多様化
- ・組合員の“お客様化”
- ・“わがJA”意識の低下
- ・協同組合に対する無理解

農業・農村の危機

- ・担い手不足、高齢化
- ・基幹的農業従事者の減少
- ・農業生産基盤の縮小傾向
- ・農村人口の減少、過疎化
- ・食料自給率の低下

組織・事業経営の危機

- ・JA経営基盤の弱体化
- ・事業取扱高の減少傾向
- ・信用・共済事業の将来収益の縮小懸念
- ・JA総合収支の悪化懸念

<豪雨による甚大な被害>

平成30年7月豪雨災害

- ・豪雨による農地の崩壊
- ・被災農業者の営農意欲の低下と離農懸念
- ・一日も早い営農再開とくらしの復興支援の必要性

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として
社会的役割を果たしている姿
目指す将来像